

神戸の港で、 世界の船と向き合う。

#中堅職員

#PSC

#英語を使う仕事

#国際法

● CONTENTS

1. これまでの業務経験について
2. 今の仕事の内容について
3. 一日の流れ
4. 国家公務員を目指す方へのメッセージ



現在の所属: 海上安全環境部外国船舶監督官

● 採用年度

平成21年度

● 入省後の主な経歴

H31.4～: 海上安全環境部外国船舶監督官

R3.9～: 育児休業取得

R5.4～: 総務企画部総務課

R6.4～: 近畿運輸局交通政策部環境・物流課

R8.4～: 海上安全環境部外国船舶監督官

1. これまでの業務経験について

これまで海事系業務を中心に、外国船舶監督業務、船員窓口業務、船舶検査・登録事務、総務課業務等、様々な業務を経験することができました。

総務課では主に神戸運輸監理部長の秘書業務や文書管理業務に携わったのですが、多岐に渡る業務を行う必要があったため大変なことも多かったものの、非常にやりがいのある業務だったと思います。

また、直近の2年間は近畿運輸局へ出向し、物流2024年問題が叫ばれる中で、物流効率化法に基づく総合効率化計画の認定業務やモーダルシフト関連の補助金業務、倉庫業登録業務が主な担当業務でしたが、物流に関する業務に携わることができ、自らの知見を広げることができたと感じています。

2. 今の仕事の内容について

管轄内の港に入港した外国船舶に対して、国際条約への適合性を確認する検査(PSC)を実施しています。現場では、船舶の証書や乗組員の資格証明書、搭載設備の保守記録等の書類確認や、実際に船内を巡回して各種設備の状態・作動状況等の確認や乗組員の操作に関する習熟度の確認を行っています。

船内では外国人の乗組員と英語でコミュニケーションを取る必要があるため、なかなかスムーズなやりとりができない場面もありますが、時には筆談を交えつつ根気強く丁寧な説明を心掛けることで意思疎通を図ることができています。

検査対象船舶へ移動する際は、職場の自動車や交通艇を利用します。特に交通艇に乗って移動する場合は、潮風を感じながら、普段はなかなか見ることができない海側からの神戸の街を眺めることができるため、心休まるひとときとなっています。

また、毎年日本で開催されている、アジア太平洋地域のPSC協力組織である東京MOUが主催するPSC検査官のための

研修の中で、各地方運輸局等においてPSCの实地訓練が行われているのですが、神戸運輸監理部でも外国人PSC検査官を受け入れて实地訓練を行っています。实地訓練ではこちらから指導するのはもちろんのこと、意見交換等を行うことでお互いに検査技術の向上を図ることができます。神戸の街の案内等、業務以外にコミュニケーションを取る場面も多々あるため、外国人とのコミュニケーション力向上も図れる良い経験になります。

3. 一日の流れ

8:30 出勤

- その日の検査対象船舶を選定

9:00 検査ツールの準備



- 持参する条約本やデジタルカメラ、懐中電灯を準備
- 検査対象船舶は外国船舶のため、日本の法律ではなく条約（国際法）をもとに検査を行います。
ちなみに、日本の船舶を対象に検査を行う「運航労務監理官」という部署もあります。

9:40 交通艇に乗船



- 神戸運輸監理部では官用船「はるかぜ」を所有しています。

外国船舶監督官や運航労務監理官など、船舶に対して検査を行う部署は、官用船「はるかぜ」により現場まで向かいます。

移動中は海から神戸の街並みを眺めることができます。



10:30

検査開始



- 証書類や船体構造、設備の状態、設備に対する乗組員の習熟度を確認し、検査終了後に報告書を交付

船舶の設備の状態については技術系職員の船舶技官と共に検査を行います。

15:00

事務作業

- その日の検査結果をデータベースに入力
- 自己研鑽のため条約やマニュアル等の確認・整理
- 翌日の検査対象船舶の確認

17:15

退勤 早めに帰宅して子どもと遊ぶことで一日の疲れをリフレッシュ

4. 国家公務員を目指す方へのメッセージをお願いします

暑い中お疲れ様です。官庁も様々なものがたくさんあるため、説明会や官庁訪問等に積極的に参加していただき、自分に合った職場を見つけていただければと思います。

その中で、神戸運輸監理部を就職先の候補の一つとしていただけると大変嬉しく思います。

体調に気を付けて、健康第一であとひと踏ん張り、頑張ってください。